



内野優海老名市長（左）と駒井町長（右）

神奈川県海老名市と

災害時相互応援協定 を締結しました

個別に他の自治体と結ぶのは初めて！

羽幌町と神奈川県海老名市は、大規模災害時に物資供給などで協力し合う「災害時における相互応援に関する協定」を締結しました。

災害時相互応援協定とは？

災害の発生により、独自では十分な応急対策などができない場合に、食料・飲料水・資機材・車両の提供、職員派遣、一時収容などの支援を行うもので、当町が個別に他の自治体と結ぶのは初めてとなります。

協定締結まで

海老名市とは「えび」繋がりが縁で、平成29年から「海老名市民まつり」や「えびな商工フェア」での特産品販売などによる交流を行っています。また、昨年10月に海老名市民約60名が道内視察の一環として当町を訪問された際に、市町間で「元気な地域づくり」交流宣言を交わしました。

そして今回、6月22日、はぼろ温泉サンセットプラザで調印式を行い、駒井町長と内野優海老名市長が両市町職員立会いのもと、協定書に署名し、協定を交わしました。（協定の内容は下記の通り）

協定締結後の挨拶で、内野市長は「協定締結を契機に更に各分野での交流も進めていき、歴史を積み重ね、

災害時の相互応援に関する協定における応援の内容

- (1) 食料、飲料水、生活必需品及びその供給に必要な資機材の提供
- (2) 救援及び救助活動に必要な車両等の提供
- (3) 被災者の救出、医療、防疫及び施設の応急復旧活動等に必要な物資及び資機材の提供
- (4) 救援、医療、防疫及び応急復旧活動に必要な職員の派遣
- (5) 被災者を一時収容するための施設の提供又は斡旋
- (6) このほか、被災市町の要請のあった事項

また、本協定を機に、平時から様々な分野での交流を図っていくこととされています。

連携を深めていきたい」と話し、駒井町長は「防災に先進的に取り組む海老名市のノウハウを取り入れ、町民の安全安心につなげていくとともに、両市町互いに寄り添い支えあう関係でありたい」と答えました。

羽幌町は、北海道・北海道市長会・北海道町村会を通じ、道内全市町村と協定を締結しています。